

平成 30 年度 岐阜市障害者総合支援協議会 第 13 回専門部会

「医療的ケア児への支援について」アンケートまとめ

日時：平成 31 年 2 月 7 日（木）15 時～17 時

会場：岐阜市役所 ハツ寺別館 2-A 会議室

参加者内訳

	箇所	人数
相談支援事業所等	17	19
指定障害児通所支援事業所	6	6
医療型短期入所事業所	4	4
日中一時支援事業所	2	2
訪問看護事業所	6	6
特別支援学校	3	3
市役所等関係機関	9	10
合計	47	50

感想（選択）

とてもよかった	よかった	普通	やや不満	不満	合計
10	20	0	0	1	31

- ・医療的ケア児とその家族を支えていくためには、やはり各関係機関の連携が大切であると改めて感じた。
- ・はじめて看護師が事業所にいなくても、連携により利用できることもあることを知り、もっと詳しく勉強して少しでも力になれたらと思った。
- ・医療的ケア児について受け入れ先がない、制度が追い付いていない、連携が必要など現状について知ることができよかった。
- ・医療的ケア児が健常な子と同じ場で学びあえるようになっていくことが理想。医療的ケア児たちが普通に外に出て友達と遊べる等、健常者の私たちが普通にやっていることができる環境づくりを少しずつしていきたい。
- ・連携を取るために、医師等も福祉職にわかるよう専門用語等使用せず接して下さるとうれしい。
- ・地域の保育所や幼稚園、小・中・高校に進学できる体制づくりが課題だと以前より言われているが先に進まないもどかしさがある。
- ・各専門分野の話が聞けて良かった。医療、福祉、教育等関係機関が連携できるよい機会であった。

## 医療的ケア児への支援についての対応

	以前支援していた	現在支援している	支援したことはない
可能な範囲で支援	0	12	5
状況に応じて支援	1	4	4
支援は難しい	0	0	2

どのようなことであれば支援できますか（できそうですか）。

- ・今回の部会に出席したことにより「～はできない。」とできないことばかりを挙げるのではなく、「～したらできるかも…」とまず一歩を踏み出すことが大切だと思った。
- ・同じ敷地内に病院があるので上手に連携が取れれば可能になるかもしれない。
- ・今後は岐阜市でも訪問看護師が学校へ行くことが可能になる制度（助成金含め）が整うことで、より安心して教育・保育を受けることができると思い、そこに関わっていくことができるとよい。
- ・関係機関をつなぐ体制づくり。
- ・関係者への啓発、支援。

## 今後取り上げて欲しいテーマ

- ・医療的ケア児について議論を重ねることが必要。粘り強く、理解・啓発・普及していけるとよい。
- ・みんなで児を支えるという意識づけや教育・研修。